

Ⅱ 調査結果の概要

II 調査結果の概要

一万人アンケートは、県民の皆さんの行政の各分野に対する満足意識、重要意識等を把握し、県政運営に活用するため実施しています。このたび、平成 23 年度の結果をとりまとめましたのでその概要を報告します。

1. お住まいの地域の住みやすさについて

お住まいの地域は住みやすいと答えた方¹の割合は 69.8%となり、前回に比べ 0.8 ポイント増加しました。また、平成 10 年度からの推移を見ると、平成 18 年度以降は減少傾向にありましたが、今回の調査では若干増加となっています。

地域別にみると、住みやすいと答えた方は北勢地域が最も多く、次いで中南勢地域、伊勢志摩地域、伊賀地域、東紀州地域の順となっています。

図 住みやすいと答えた方の割合の推移

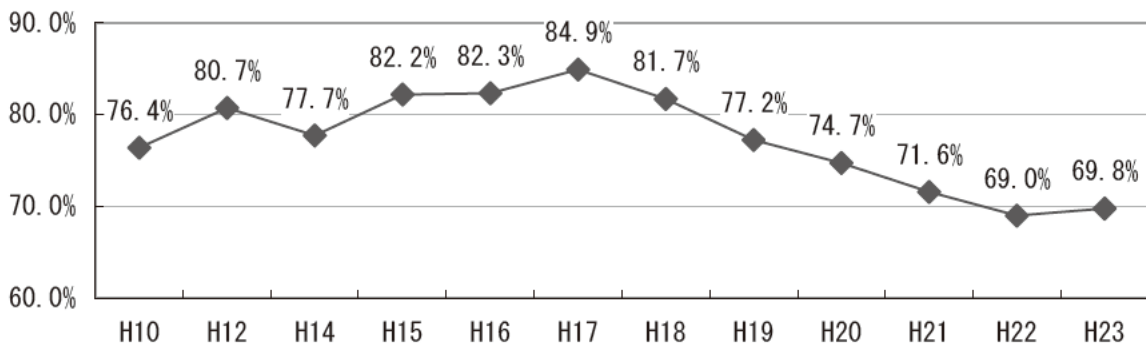
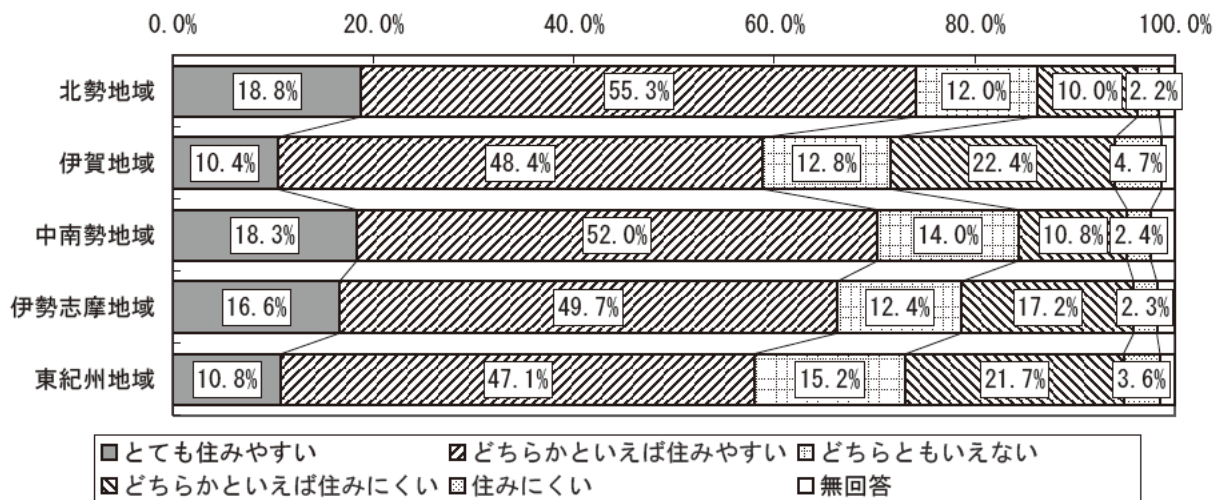


図 地域別 お住まいの地域の住みやすさについての評価



¹ 「とても住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計

2. 住みやすい及び住みにくいと感じている点

住みやすいと答えた方（69.8%）及び住みにくいと答えた方（15.5%）を対象に、それぞれ満足している部分、不足している部分を調査したところ、以下ようになりました。

（1）住みやすいと感じている点

住みやすいと感じている点については、「きれいな空気」が36.9%と最も多く、次いで「自然環境との共生」（26.5%）となっており、県民の多くは自然環境を評価していることがうかがえます。次いで、「公共交通機関」（19.2%）、「医療体制」（17.5%）、「道路の整備」（14.9%）、「子育て環境」（14.6%）などとなっています。

平成22年度と比較しても大きな変化はみられません。

表 住みやすいと感じている点（上位10項目）

順位	平成23年度		前年比	順位	平成22年度	
	項目	構成比			項目	構成比
第1位	きれいな空気【くらし】	36.9%	←	第1位	きれいな空気【くらし】	37.2%
第2位	自然環境との共生【くらし】	26.5%	←	第2位	自然環境との共生【くらし】	26.2%
第3位	公共交通機関【絆】	19.2%	←	第3位	公共交通機関【絆】	17.6%
第4位	医療体制【くらし】	17.5%	↑	第4位	道路の整備【絆】	15.7%
第5位	道路の整備【絆】	14.9%	↓	第5位	医療体制【くらし】	15.0%
第6位	子育て環境【くらし】	14.6%	←	第6位	子育て環境【くらし】	14.7%
第7位	飲料水の供給【くらし】	14.0%	←	第7位	飲料水の供給【くらし】	14.2%
第8位	食の安全【くらし】	13.9%	←	第8位	食の安全【くらし】	11.6%
第9位	防犯【くらし】	11.8%	←	第9位	防犯【くらし】	10.8%
第10位	高速交通網【絆】	10.3%	←	第10位	高速交通網【絆】	10.2%

○地域別 上位5項目

地域	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	23. きれいな空気 36.9%	20. 自然環境との共生 26.5%	38. 公共交通機関 19.2%	18. 医療体制 17.5%	37. 道路の整備 14.9%
北勢地域	38. 公共交通機関 25.8%	23. きれいな空気 25.6%	20. 自然環境との共生 22.8%	18. 医療体制 22.2%	37. 道路の整備 16.8%
伊賀地域	23. きれいな空気 58.3%	20. 自然環境との共生 37.2%	14. 食の安全 14.9%	17. 子育て環境	38. 公共交通機関 12.8%
中南勢地域	23. きれいな空気 39.7%	20. 自然環境との共生 27.1%	18. 医療体制 19.4%	38. 公共交通機関 18.8%	37. 道路の整備 16.6%
伊勢志摩地域	23. きれいな空気 50.1%	20. 自然環境との共生 29.6%	14. 食の安全 21.6%	24. 川や海の水質 16.7%	13. 防犯 13.9%
東紀州地域	23. きれいな空気 70.4%	20. 自然環境との共生 38.3%	24. 川や海の水質 34.9%	44. 飲料水の供給 16.6%	13. 防犯 15.8%

- ・ 県全体の上位5項目のうち、「きれいな空気」、「自然環境との共生」は全ての地域で上位5項目としてあげられています。「公共交通機関」は北勢地域での1位をはじめ3地域で、「医療体制」、「道路の整備」は2地域で上位5項目に入っています。
- ・ 上記以外の項目では、「川や海の水質」、「食の安全」、「防犯」が2地域で、「子育て環境」が伊賀地域で、「飲料水の供給」が東紀州地域で上位5項目に入っています。

(2) 住みにくいと感じている点

住みにくいと感じている点については、「公共交通機関」(45.5%)が最も多く、次いで「医療体制」(38.6%)、「雇用」(30.1%)となっており、これら3つの項目が他と比較して多くなっています。

平成22年度と比較すると、「公共交通機関」が11.3ポイント増加と構成比が大きく上昇しています。

表 住みにくいと感じている点(上位10項目)

順位	平成23年度		前 年 比	順位	平成22年度	
	項目	構成 比			項目	構成 比
第1位	公共交通機関【絆】	45.5%	↑	第1位	医療体制【くらし】	36.8%
第2位	医療体制【くらし】	38.6%	↓	第2位	公共交通機関【絆】	34.2%
第3位	雇用【元気】	30.1%	←	第3位	雇用【元気】	28.0%
第4位	道路の整備【絆】	15.6%	←	第4位	道路の整備【絆】	15.3%
第5位	子育て環境【くらし】	10.8%	←	第5位	子育て環境【くらし】	12.0%
第6位	快適なまちづくり【絆】	10.2%	↑	第6位	福祉サービス【くらし】	10.3%
第7位	地域商工業【元気】	10.1%	↑	第7位	快適なまちづくり【絆】	9.0%
第8位	過疎地域等の振興【絆】	9.4%	↑	第8位	防犯【くらし】	8.7%
第9位	人権尊重【元気】	8.4%	↑	第9位	地域商工業【元気】	8.4%
第10位	福祉サービス【くらし】	8.2%	↓	第10位	過疎地域等の振興【絆】	7.8%

○地域別 上位5項目

地域	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	38. 公共交通機関 45.5%	18. 医療体制 38.6%	31. 雇用 30.1%	37. 道路の整備 15.6%	17. 子育て環境 10.8%
北勢地域	38. 公共交通機関 53.4%	18. 医療体制 25.0%	37. 道路の整備 16.4%	31. 雇用 12.9%	40. 快適なまちづくり 12.1%
伊賀地域	18. 医療体制 59.8%	38. 公共交通機関 38.9%	31. 雇用 36.1%	37. 道路の整備 15.6%	42. 過疎地域等の振興 14.3%
中南勢地域	38. 公共交通機関 47.3%	18. 医療体制 32.6%	31. 雇用 28.7%	37. 道路の整備 14.0%	17. 子育て環境 13.2%
伊勢志摩 地域	31. 雇用 49.1%	18. 医療体制 47.9%	38. 公共交通機関 37.9%	37. 道路の整備 18.3%	01. 人権尊重 42. 過疎地域等の振興 10.7%
東紀州地域	31. 雇用 63.0%	18. 医療体制 56.0%	38. 公共交通機関 32.4%	36. 高速交通網 21.8%	42. 過疎地域等の振興 16.2%

- ・ 県全体の上位5項目のうち、「公共交通機関」、「医療体制」、「雇用」は全地域で上位5項目としてあげられています。また、「道路の整備」が4地域、「子育て環境」が中南勢地域で上位5項目に入っています。
- ・ 上記以外の項目では、「過疎地域等の振興」が3地域で、「快適なまちづくり」が北勢地域で、「人権尊重」が伊勢志摩地域で、「高速交通網」が東紀州地域で上位5項目に入っています。

3. 今後の定住意向について

※15年度からの調査項目

「今の地域に住み続けたい」と答えた方の割合は62.5%、「三重県内の別の地域に住みたい」と答えた方の割合は8.8%で、これらを合計すると71.3%になります。また、合計の推移を見ると、平成20年度以降は少しずつ減少しています。

地域別にみると、「今の地域に住み続けたい」と答えた方は伊勢志摩地域が65.4%で最も多くなっています。「三重県内の別の地域に住みたい」は伊勢志摩地域（11.3%）、東紀州地域（11.2%）、中南勢地域（11.0%）が1割を超えています。「県外に住みたい」は伊賀地域（13.0%）が他の地域の2倍以上と多くなっています。

図 県内の定住意向の推移

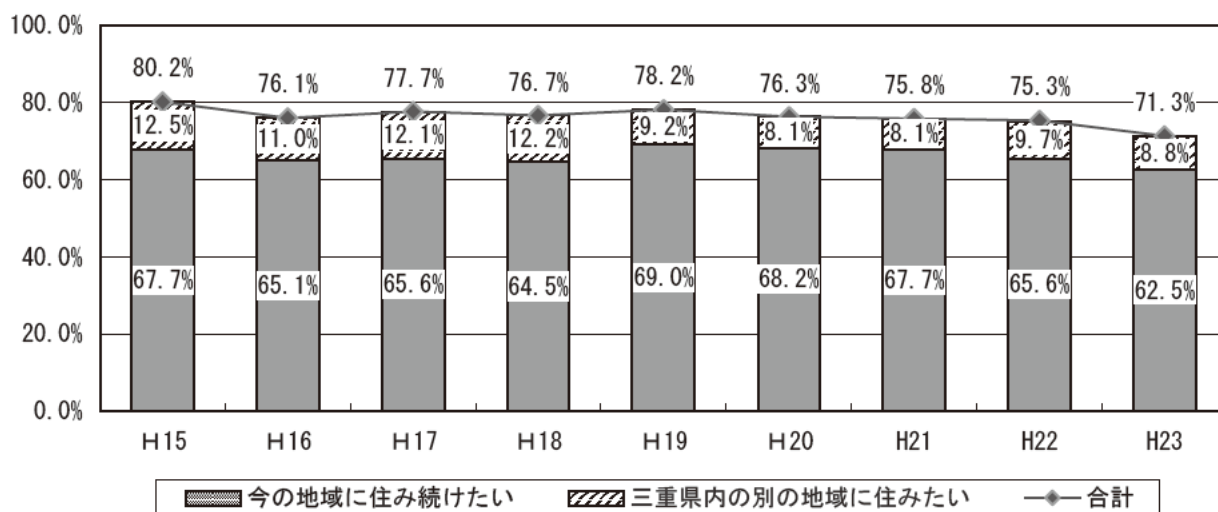
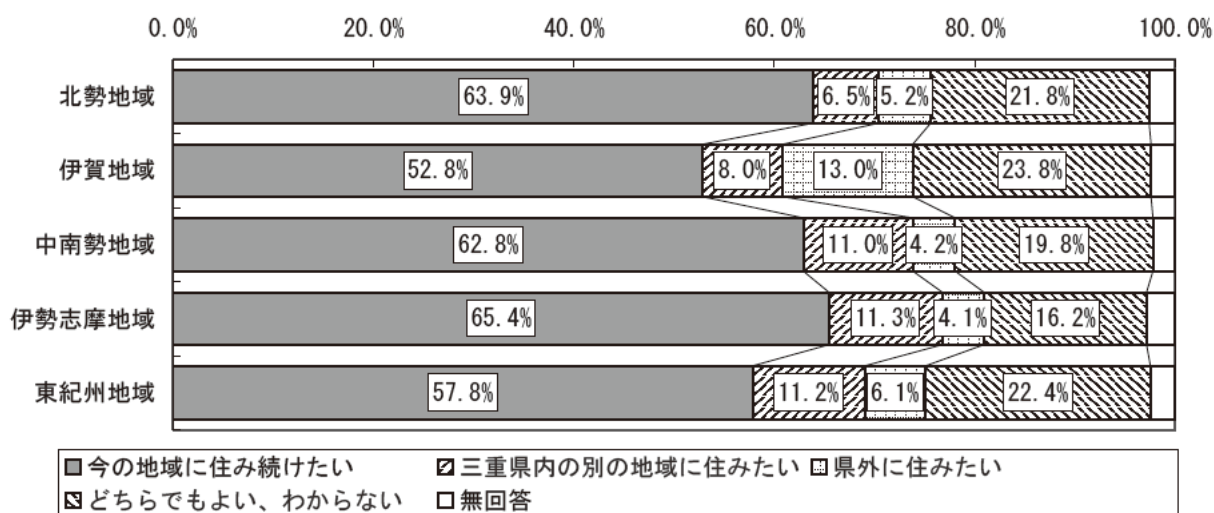


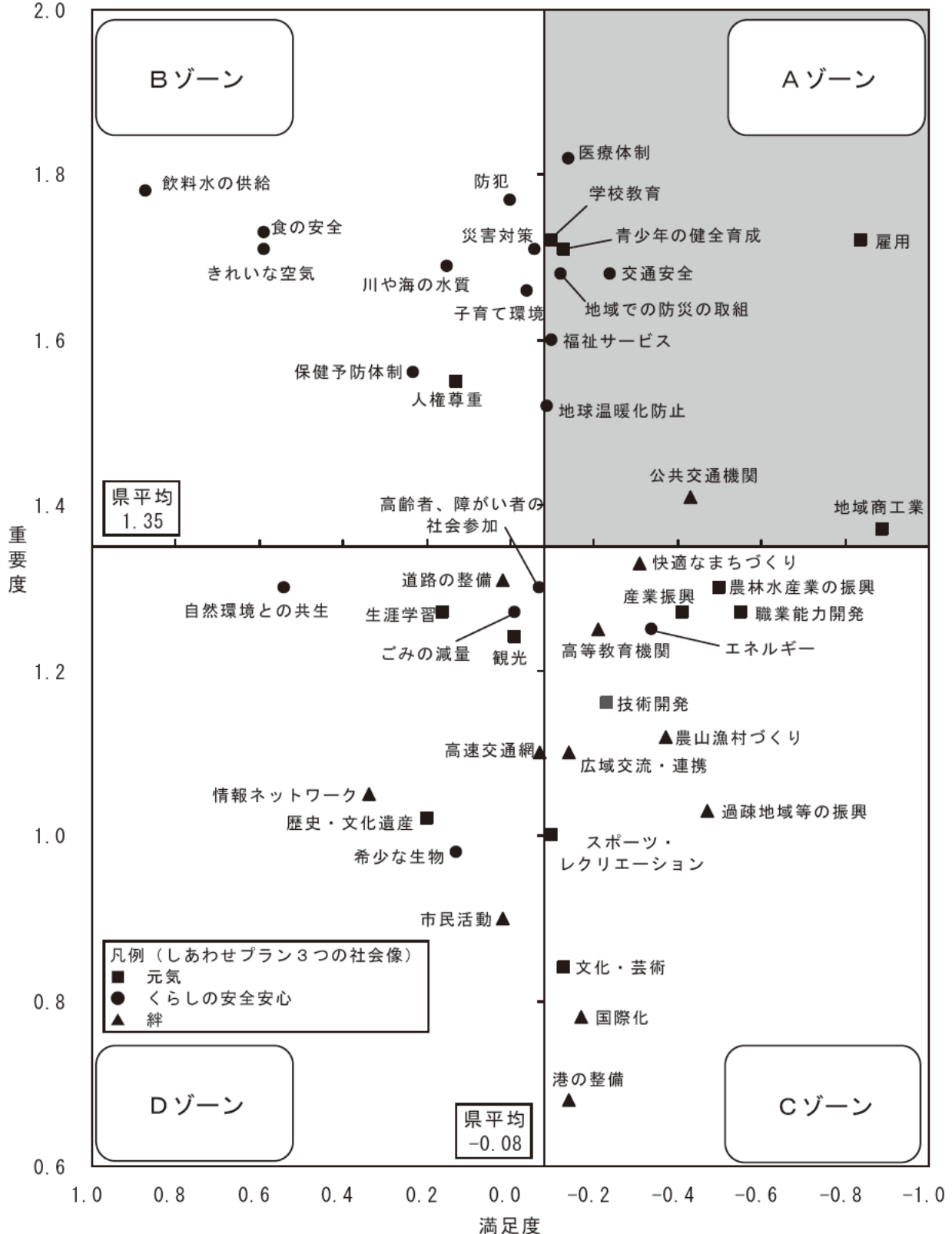
図 地域別 定住意向



4. 行政の各分野における取組について

アンケートで得られた重要意識・満足意識から計算した重要度・満足度（※「2. 重要度、満足度について」p126 参照）を、それぞれ縦軸・横軸にとって44項目の回答結果（p128 参照）をプロットすると、下図のようになります。

図 重要度・満足度プロット図（重要度と満足度の関係（平成23年度））



(1) 重要度、満足度の状況

・取組に対する県民のニーズが特に高いもの

【Aゾーン 重要度が平均値より高く、満足度が平均値より低い項目】

「重要度・満足度プロット図」の右上に位置する項目は、施策の必要性が充分認識され、特に取組の推進や改善に対する県民のニーズが高い項目と考えられ、従来の施策の取組について、さらに改善を検討する必要があります。

項 目
「学校教育」「青少年の健全育成」「地域での防災の取組」「交通安全」 「医療体制」「福祉サービス」「地球温暖化防止」「地域商工業」「雇用」 「公共交通機関」

・取組の必要性と内容に対する県民の評価が得られているもの

【Bゾーン 重要度、満足度ともに平均値より高い項目】

「重要度・満足度プロット図」の左上に位置する項目は、施策の必要性が充分認識され、その取組にも満足されている項目と考えられ、今後も現在の水準を維持するため、着実に取組を推進する必要があります。なお、「飲料水の供給」は従来から重要度、満足度ともに高い評価を得ています。

項 目
「人権尊重」「災害対策」「防犯」「食の安全」「保健予防体制」 「子育て環境」「きれいな空気」「川や海の水質」「飲料水の供給」

・取組に対する県民の満足度は低いものの、必要性の認識も低いもの

【Cゾーン 重要度、満足度ともに平均値より低い項目】

「重要度・満足度プロット図」の右下に位置する項目は、取組の推進や改善に対するニーズは高いものの、他の施策と比較してその必要性の認識が低い項目と考えられ、施策の重要性をさらに認知してもらえるような取組とともに、従来の取組の改善も検討する必要があると考えられます。

項 目
「高等教育機関」「文化・芸術」「スポーツ・レクリエーション」 「農林水産業の振興」「産業振興」「技術開発」「職業能力開発」「国際化」 「広域交流・連携」「港の整備」「快適なまちづくり」「農山漁村づくり」 「過疎地域等の振興」「エネルギー」

・必要性の認識は低いものの、取組に対する満足度は高いもの

【Dゾーン 重要度が平均値より低く、満足度は平均値より高い項目】

「重要度・満足度プロット図」の左下に位置する項目は、他の施策と比較してその必要性の認識は低いものの、取組には満足されている項目と考えられ、着実に取組を推進するとともに、施策の重要性についてさらに認知してもらえる取組を進める必要があると考えられます。

項目
「生涯学習」「市民活動」「歴史・文化遺産」 「高齢者、障がい者の社会参加」「自然環境との共生」「希少な生物」 「ごみの減量」「観光」「情報ネットワーク」「高速交通網」「道路の整備」

今回の調査と平成 22 年度調査を比較して、ゾーンが移動した項目は以下の 2 項目となっています。

表 ゾーンが移動した項目

ゾーンの移動	項目
重要度が高く、満足度が平均値より高くなった項目 (Aゾーン→Bゾーン)	「子育て環境」
重要度が低く、満足度が平均値より低くなった項目 (Dゾーン→Cゾーン)	「スポーツ・レクリエーション」

(2) 地域別の重要度、満足度の状況

各地域の重要度の高い項目、満足度の低い項目の上位 10 位までの順位は下表のとおりです。

① 重要度の高い項目

順位	県全体	北勢地域	伊賀地域	中南勢地域	伊勢志摩地域	東紀州地域
1位	18. 医療体制	18. 医療体制	18. 医療体制	18. 医療体制	18. 医療体制	18. 医療体制
2位	44. 飲料水の供給	13. 防犯	44. 飲料水の供給	13. 防犯	44. 飲料水の供給	44. 飲料水の供給
3位	13. 防犯	44. 飲料水の供給	13. 防犯	44. 飲料水の供給	31. 雇用	31. 雇用
4位	14. 食の安全	03. 学校教育	31. 雇用	03. 学校教育	13. 防犯	23. きれいな空気
5位	03. 学校教育	14. 食の安全	03. 学校教育	04. 青少年の健全育成	23. きれいな空気	14. 食の安全
6位	31. 雇用	04. 青少年の健全育成	14. 食の安全	11. 災害対策	11. 災害対策	24. 川や海の水質
7位	04. 青少年の健全育成	11. 災害対策	17. 子育て環境	14. 食の安全	24. 川や海の水質	10. 地域での防災の取組
8位	11. 災害対策	31. 雇用	23. きれいな空気	23. きれいな空気	14. 食の安全	11. 災害対策
9位	23. きれいな空気	12. 交通安全	11. 災害対策	31. 雇用	03. 学校教育	13. 防犯
10位	24. 川や海の水質	23. きれいな空気	10. 地域での防災の取組 12. 交通安全 24. 川や海の水質	12. 交通安全	04. 青少年の健全育成	17. 子育て環境

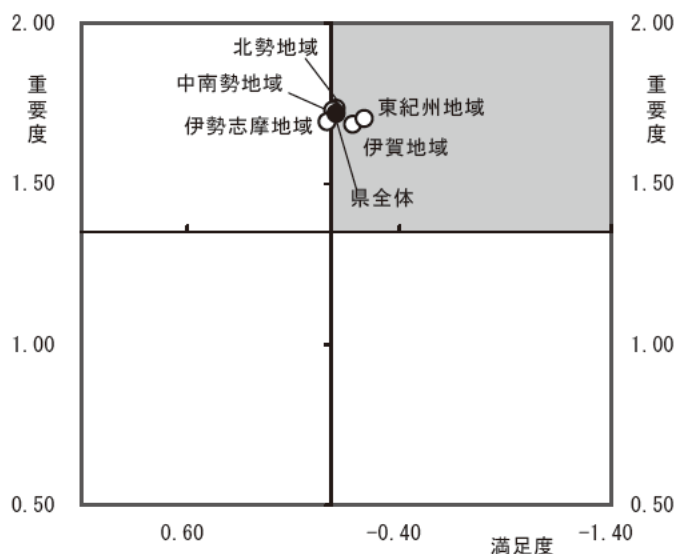
② 満足度の低い項目

順位	県全体	北勢地域	伊賀地域	中南勢地域	伊勢志摩地域	東紀州地域
1位	30. 地域商工業	30. 地域商工業	18. 医療体制	30. 地域商工業	31. 雇用	31. 雇用
2位	31. 雇用	31. 雇用	30. 地域商工業	31. 雇用	30. 地域商工業	30. 地域商工業
3位	32. 職業能力開発	26. 農林水産業の振興	31. 雇用	26. 農林水産業の振興	32. 職業能力開発	32. 職業能力開発
4位	26. 農林水産業の振興	32. 職業能力開発	38. 公共交通機関	32. 職業能力開発	27. 産業振興	38. 公共交通機関
5位	42. 過疎地域等の振興	42. 過疎地域等の振興	32. 職業能力開発	42. 過疎地域等の振興	42. 過疎地域等の振興	18. 医療体制
6位	38. 公共交通機関	43. エネルギー	42. 過疎地域等の振興	27. 産業振興	38. 公共交通機関	42. 過疎地域等の振興
7位	27. 産業振興	41. 農山漁村づくり	26. 農林水産業の振興	38. 公共交通機関	26. 農林水産業の振興	27. 産業振興
8位	41. 農山漁村づくり	27. 産業振興	27. 産業振興	41. 農山漁村づくり	43. エネルギー	36. 高速交通網
9位	43. エネルギー	38. 公共交通機関	41. 農山漁村づくり	40. 快適なまちづくり	41. 農山漁村づくり	26. 農林水産業の振興
10位	40. 快適なまちづくり	40. 快適なまちづくり	40. 快適なまちづくり	29. 技術開発	18. 医療体制	41. 農山漁村づくり 43. エネルギー

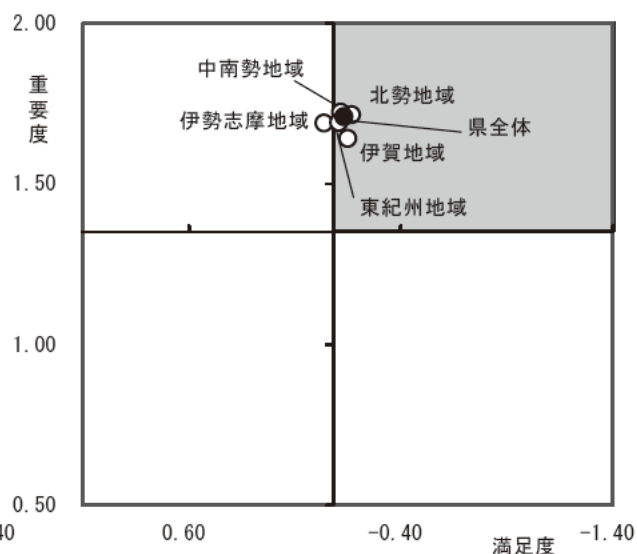
③ 各地域でAゾーンに入っている項目

いずれかの地域でAゾーンに入っている項目は、下記の18項目となっています。図中の座標軸(+)は県平均(重要度1.35、満足度-0.08)を示しています。

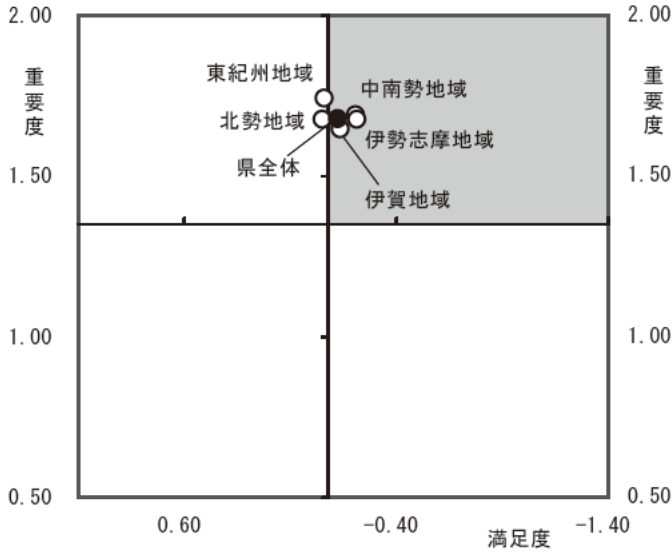
3 【学校教育】



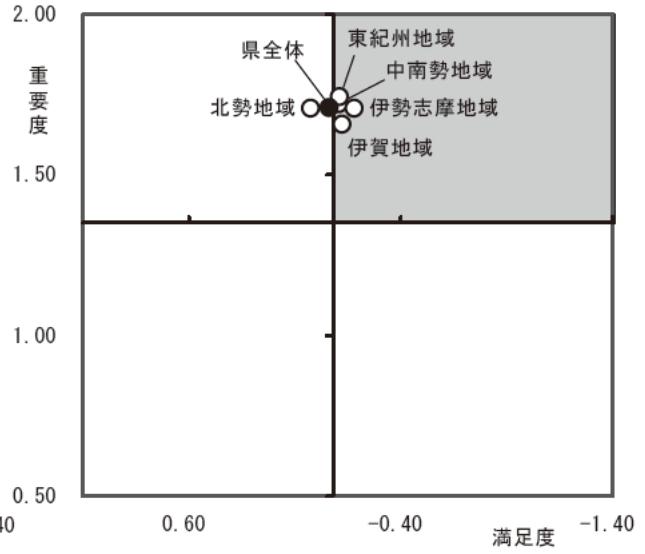
4 【青少年の健全育成】



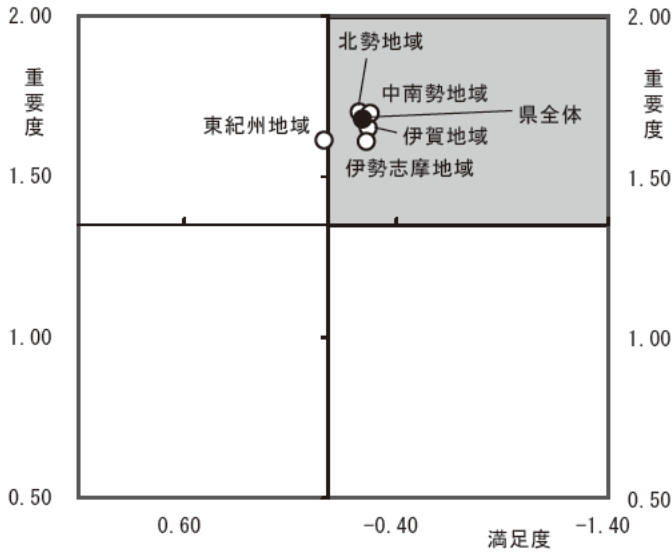
10 【地域での防災の取組】



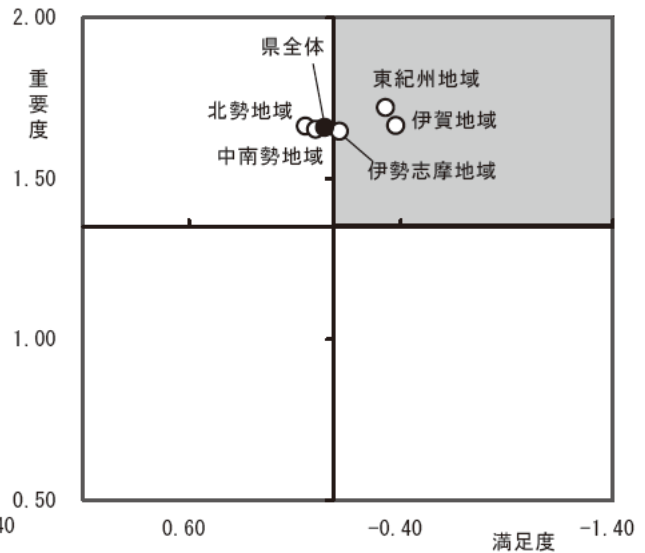
11 【災害対策】



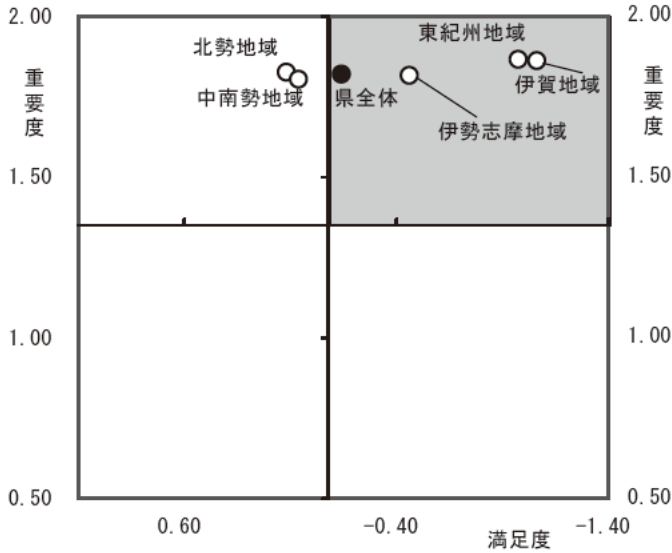
12 【交通安全】



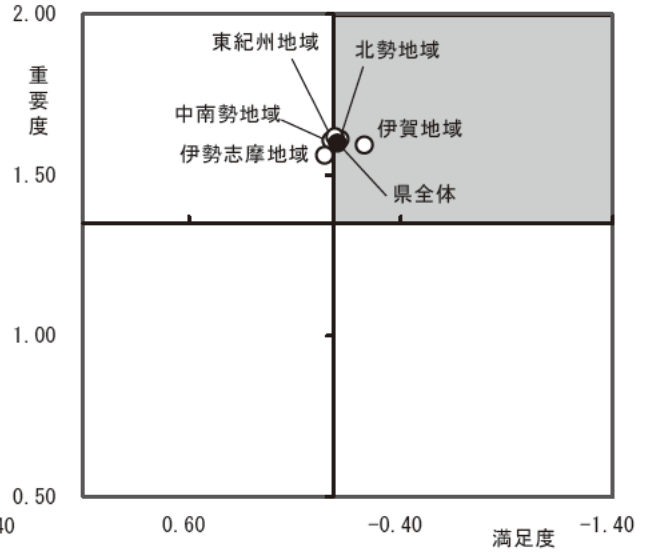
17 【子育て環境】



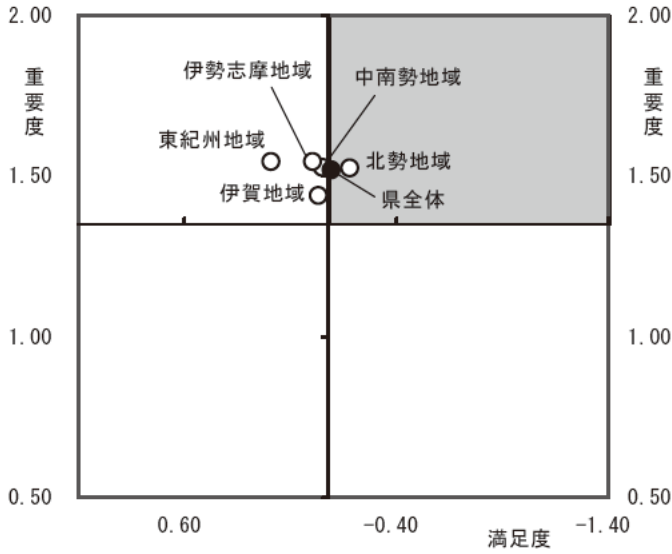
18 【医療体制】



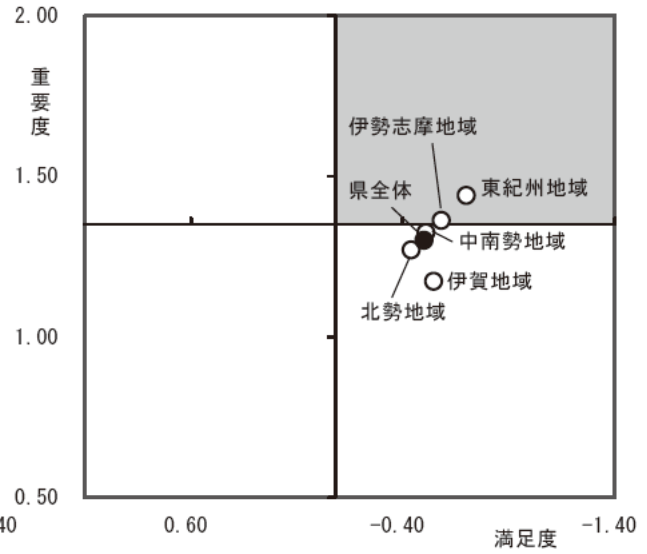
19 【福祉サービス】



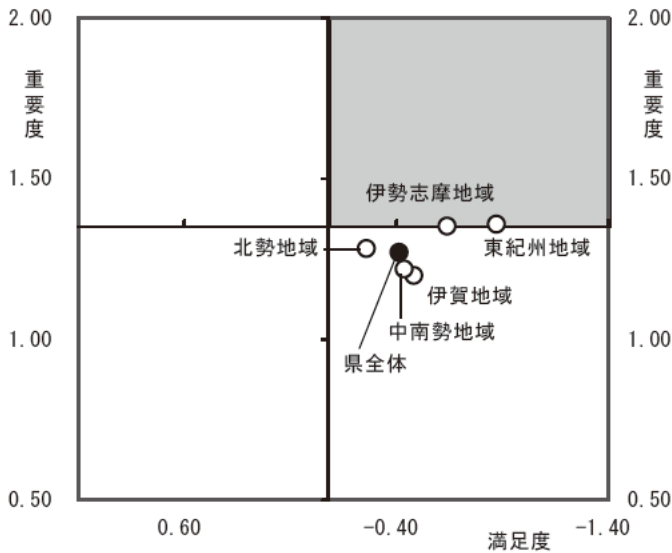
25 【地球温暖化防止】



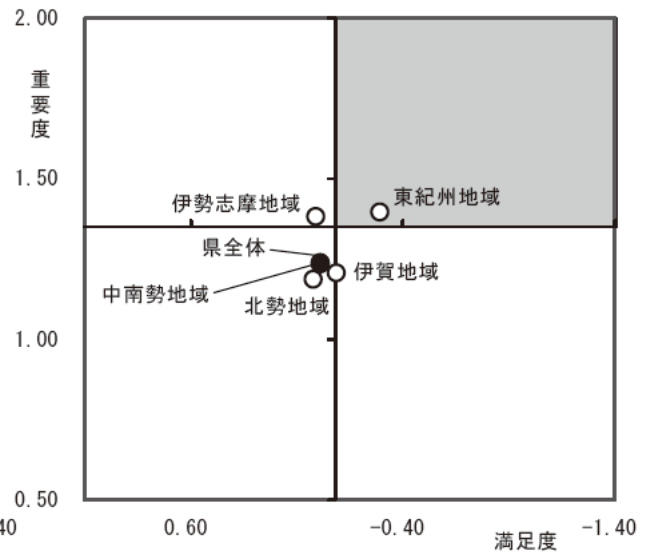
26 【農林水産業の振興】



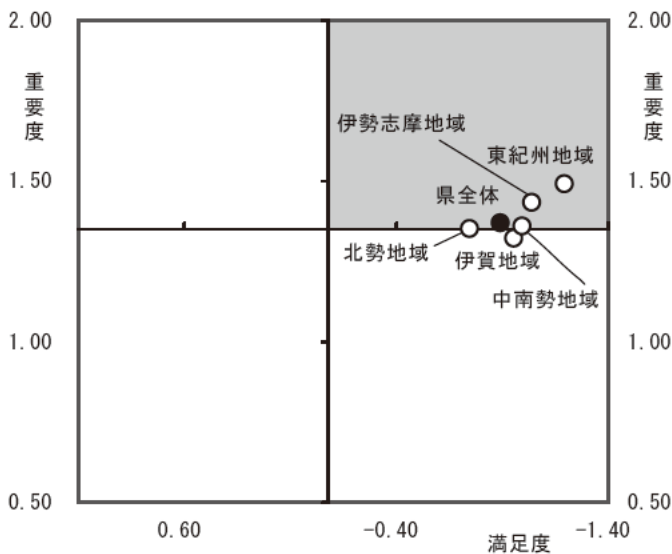
27 【産業振興】



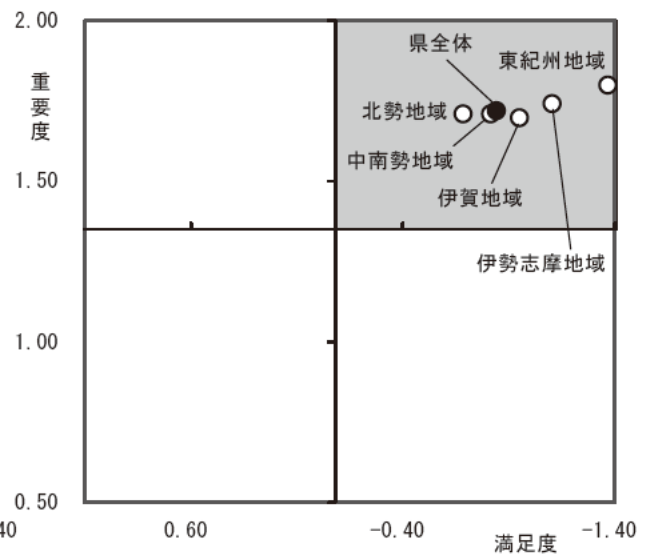
28 【観光】



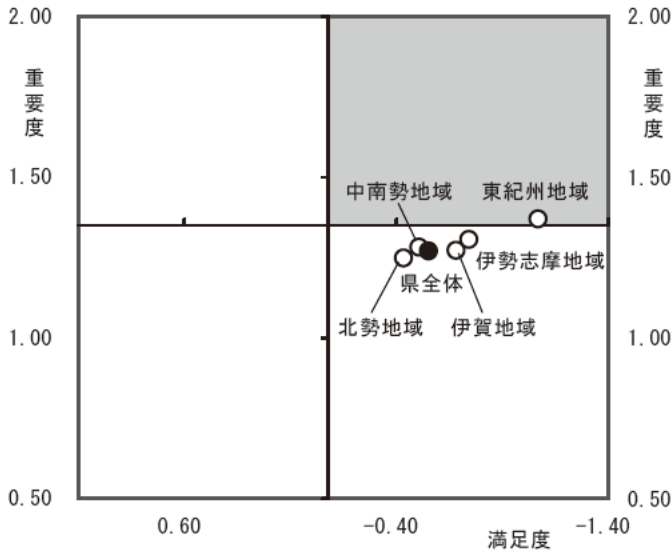
30 【地域商工業】



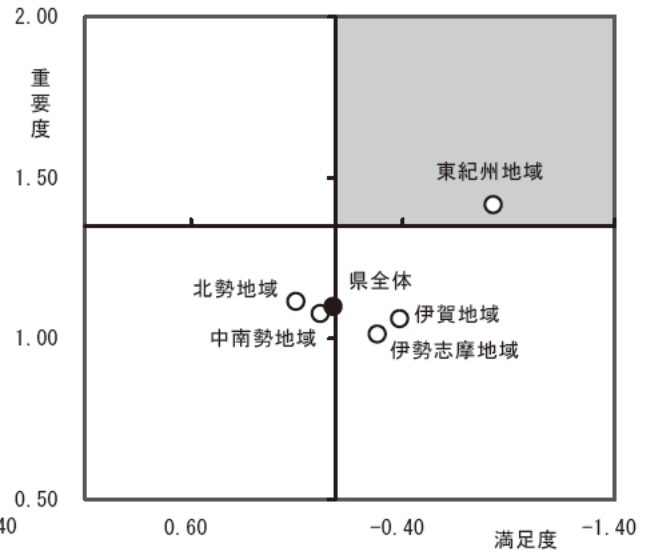
31 【雇用】



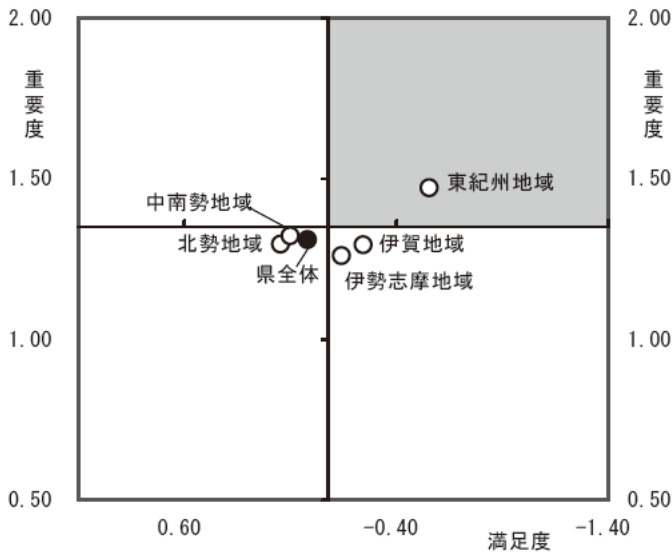
32 【職業能力開発】



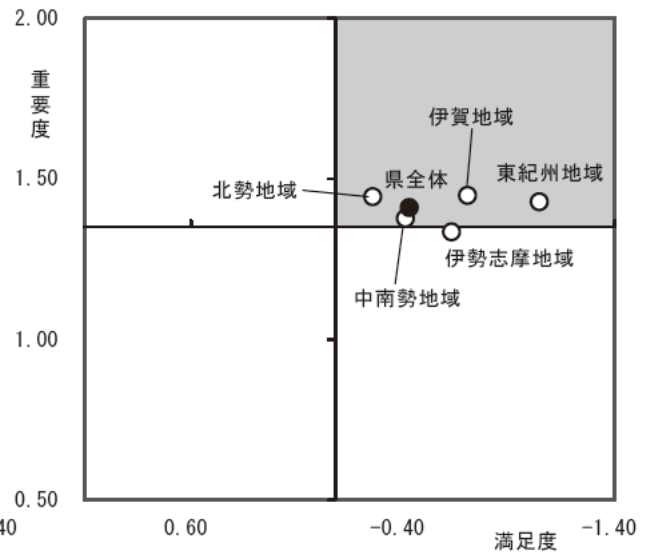
36 【高速交通網】



37 【道路の整備】



38 【公共交通機関】



④ 重要度・満足度に関する地域別の特色

表 特に県民ニーズが高い項目（Aゾーン）等に関する地域の特性

	北勢	伊賀	中南勢	伊勢志摩	東紀州
県全体ではAゾーンに入っていないが地域別ではAゾーンに入っている項目	なし	災害対策 子育て環境	災害対策	災害対策 子育て環境 農林水産業の振興 産業振興	災害対策 子育て環境 農林水産業の振興 産業振興 観光 職業能力開発 高速交通網 道路の整備
県全体ではAゾーンに入っているが地域別ではAゾーンに入っていない項目	地域での防災の取組 医療体制	地球温暖化防止 地域商工業	医療体制 福祉サービス 地球温暖化防止	学校教育 青少年の健全育成 福祉サービス 地球温暖化防止 公共交通機関	地域での防災の取組 交通安全 地球温暖化防止

表 重要度・満足度の県全体との比較

		北勢	伊賀	中南勢	伊勢志摩	東紀州
平均値の県全体との比較	重要度 県全体 (1.35)	同じ (1.35)	やや低い (1.32)	ほぼ同じ (1.36)	ほぼ同じ (1.36)	高い (1.41)
	満足度 県全体 (-0.08)	やや高い (-0.03)	低い (-0.17)	ほぼ同じ (-0.07)	やや低い (-0.13)	低い (-0.23)
満足度の県全体との比較	満足度の高い項目	医療体制 高速交通網 公共交通機関 雇用 産業振興 等	きれいな空気 自然環境との共生 地球温暖化防止 港の整備 希少な生物 等	医療体制 港の整備 エネルギー 生涯学習 道路の整備 等	きれいな空気 川や海の水質 自然環境との共生 防犯 青少年の健全育成 等	きれいな空気 川や海の水質 地球温暖化防止 防犯 自然環境との共生 等
	満足度の低い項目	きれいな空気 自然環境との共生 地球温暖化防止 川や海の水質 防犯 等	医療体制 子育て環境 高速交通網 公共交通機関 道路の整備 等	地域商工業 地域での防災の取組 スポーツ・レクリエーション 希少な生物 川や海の水質 等	医療体制 雇用 産業振興 高速交通網 公共交通機関 等	医療体制 高速交通網 公共交通機関 道路の整備 雇用 職業能力開発 等

(3) 重要度、満足度の経年変化

重要度と満足度について、今回と前回（平成 22 年度）、さらに 5 年前の平成 18 年度の 3 カ年で比較を行いました。以下では、重要度・満足度の増減が過去 5 年間で一貫しており、なおかつ平成 18 年度と比較して重要度、満足度が 0.1 以上増減した項目を列挙しています。

<県全体の 5 年間の動き>

- ・満足度が上がっているもの……「きれいな空気」「川や海の水質」「食の安全」「防犯」「飲料水の供給」「青少年の健全育成」「地球温暖化防止」「子育て環境」「自然環境との共生」「学校教育」「希少な生物」

	重要度			満足度			満足度 増減値
	H18	H22	H23	H18	H22	H23	
23. きれいな空気	1.78	1.72	1.71	0.09	0.51	0.59	0.50
24. 川や海の水質	1.76	1.67	1.69	-0.32	0.02	0.15	0.47
14. 食の安全	1.74	1.72	1.73	0.19	0.52	0.59	0.40
13. 防犯	1.84	1.77	1.77	-0.38	-0.06	0.00	0.38
44. 飲料水の供給	1.85	1.80	1.78	0.51	0.85	0.87	0.36
04. 青少年の健全育成	1.76	1.72	1.71	-0.45	-0.20	-0.13	0.32
25. 地球温暖化防止	1.70	1.53	1.52	-0.34	-0.15	-0.09	0.25
17. 子育て環境	1.68	1.66	1.66	-0.25	-0.09	-0.04	0.21
20. 自然環境との共生	1.36	1.33	1.30	0.34	0.51	0.54	0.20
03. 学校教育	1.75	1.70	1.72	-0.28	-0.11	-0.10	0.18
21. 希少な生物	1.07	1.00	0.98	-0.03	0.08	0.13	0.16

- ・満足度が下がっているもの……「産業振興」「職業能力開発」「高速交通網」「港の整備」「農林水産業の振興」「雇用」「過疎地域等の振興」「農山漁村づくり」「技術開発」「公共交通機関」

	重要度			満足度			満足度 増減値
	H18	H22	H23	H18	H22	H23	
27. 産業振興	1.21	1.24	1.27	-0.11	-0.37	-0.41	-0.30
32. 職業能力開発	1.22	1.26	1.27	-0.33	-0.52	-0.55	-0.22
36. 高速交通網	1.10	1.03	1.10	0.12	0.00	-0.07	-0.19
39. 港の整備	0.77	0.63	0.68	0.03	-0.09	-0.14	-0.17
26. 農林水産業の振興	1.26	1.29	1.30	-0.33	-0.47	-0.50	-0.17
31. 雇用	1.68	1.70	1.72	-0.67	-0.78	-0.84	-0.17
42. 過疎地域等の振興	0.99	1.00	1.03	-0.34	-0.38	-0.47	-0.13
41. 農山漁村づくり	1.09	1.13	1.12	-0.25	-0.30	-0.37	-0.12
29. 技術開発	1.16	1.15	1.16	-0.12	-0.20	-0.23	-0.11
38. 公共交通機関	1.33	1.37	1.41	-0.32	-0.39	-0.43	-0.11

- ・重要度が上がっているもの……なし

- ・重要度が下がっているもの……「ごみの減量」「エネルギー」「地球温暖化防止」

	重要度			満足度			重要度 増減値
	H18	H22	H23	H18	H22	H23	
22. ごみの減量	1.51	1.33	1.27	-0.11	0.00	-0.01	-0.24
43. エネルギー	1.47	1.27	1.25	-0.27	-0.38	-0.34	-0.22
25. 地球温暖化防止	1.70	1.53	1.52	-0.34	-0.15	-0.09	-0.18